

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>専門的な知識と技術を生かして希望進路を実現し、地域社会に貢献できる人材を育成する総合型高校 地域社会が有する魅力や課題に着目した実践的な学びを通して、地域を大切に作る心やコミュニケーション能力を育み、農業・工業・情報等の専門的な知識・技術を身に付けた、地域に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>○心身ともに健康で豊かな人間性の育成 ○地域と連携した創造的、実践的な学びを通して地域社会に貢献できる力の育成 ○専門性を基盤に、社会人として主体的に生きる力の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>○就職を中心に進学にも役立つ資格を取得できるカリキュラムの編成 ○興味ある分野、得意な分野を生かし、体験的な学習を通して、専門的な知識・技術を身に付けることができるカリキュラムの編成 ○地元の企業でインターンシップを実施するなど、地域と連携したキャリア教育の推進</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>○就職と進学から幅広く進路選択をしたい人 ○興味ある分野の専門的な知識と技術を身に付けたい人 ○社会人として必要な人間性と基礎学力を身に付けたい人</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>【成果】 1 ICT活用の拡大に伴う授業改善及び対話的な学びの進展 2 学校行事を通じた生徒の主体性育成 3 学科の特性を生かした教育内容の深化及び教科横断的な取組の実施 4 各学科における校外での地域貢献活動の充実 5 広報委員会を主体とした組織的な広報活動による志願倍率及び定員充足率の向上</p> <p>【課題】 1 「学び直し」による基礎学力の定着及び指導と評価の一体化による授業改善 2 生徒の自己有用感を高める発達支持的生徒指導及び教育相談体制の充実 3 インターンシップ及び「SEL-8C」等の充実による系統的キャリア教育の実施 4 学科間連携の推進及び更に地域に開かれた学校づくり 5 SNS及び学校HP等を効果的に活用した広報活動による全学科での志願倍率向上</p>	1 「確かな学力」の育成	<p>(1) 総合型高校の特性を生かしたカリキュラムマネジメントによる、資格取得実績の向上 (2) ガイダンス機能と3年間を見通したキャリア教育の充実による生徒の第1希望進路の実現 (3) 義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための「学び直し」及び「学びの基礎診断」など客観的データ分析に基づいた基礎学力の向上</p>	
	2 基本的な生活習慣の定着と「健やかな体」の育成	<p>(1) 心身ともに健康な身体と規範意識の育成 (2) 教育活動全体を通じた、社会を意識したコミュニケーション能力の育成 (3) 保護者との緊密な連携による出席状況の改善</p>	
	3 「豊かな心」の涵養	<p>(1) 教育活動全体を通じた道徳教育の推進による人権意識の定着といじめを許さない雰囲気醸成 (2) 「鍛ほめ福岡メソッド」に沿った発達支持的生徒指導の充実による自己肯定感の育成 (3) 地域との連携強化による地域を愛し地域に貢献できる人材の育成</p>	
	4 主体的・対話的で深い学びの実践	<p>(1) ICTの活用をはじめとする研究授業及び職員研修の充実による授業改善 (2) 授業のユニバーサルデザイン化及びICTを活用した「個別最適な学び」の実践 (3) 主体的に学ぶ生徒を育成するための観点別評価方法の工夫・改善</p>	
	5 社会に開かれた教育課程の実現	<p>(1) 地元企業や大学等との連携による効果的かつ高度な専門教育の充実と協働 (2) 各学科の専門性を生かした教科等横断的な視点に立った取組の創造と魅力発信 (3) ドローンの利活用推進及びふるさと納税返礼品事業等による地域と連携した教育活動の更なる充実</p>	

様式3

	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	義務教育段階の「学び直し」の充実	基礎学力の確実な定着を図るために教科と連携し、指導と評価の一体化を図る。	・学校満足度アンケート(生徒・保護者) [学び直し][普通教科の授業]	
		進路指導部と連携し、学びの基礎診断の結果を生かして学力伸長に向けた取組を推進する。		
		効果的なICT活用により「分かる授業」及び個に応じた指導を充実させる。		
	生徒の学習状況の把握と指導方法改善	考查や授業アンケートの結果を詳細に分析し、生徒の学習状況を把握する。	・授業アンケート ・成績の傾向分析(クラス別)	
		授業アンケートの項目の見直しを行い、授業改善に役立つ資料を提供する。		
	効果的な研修の実施と図書館の利活用の促進	研修に関するアンケートを実施し、ニーズの把握と研修の精選、実施形態の工夫に努める。	・学校満足度アンケート[ICT機器活用] ・図書の間貸し出し冊数	
		ICT活用の充実を主題とする職員研修及び公開授業期間を実施し、生徒のICT活用を推進する。		
		図書館の利活用について新入生オリエンテーションを実施する。		
	式典・諸行事等の円滑な運営、各種団体との連携による学校活性化	創立20周年記念行事に向けて職員・分掌間の連携を強化し、諸行事を円滑に運営する。	・PTA、同窓会へのアンケート	
		4学科連携による地域貢献を充実させ、地域に開かれた学校づくりを推進する。		
PTA、同窓会及び地域との連携を強化し、本校の情報を積極的に発信する。				
広報活動の充実と発展による志願倍率の向上	本校の魅力や特色を効果的に伝える「学校案内」「学科別リーフレット」を作成する。	・志願倍率 ・HP、インスタグラムの閲覧者数 ・「中学生の体験入学」参加者数 ・「出前授業」等実施回数		
	中学生やその保護者が閲覧したくなるHP・Instagramを組織的に作成、更新する。			
	体験入学、中学校での高校説明会や出前授業により本校の魅力や特色を直接伝える。			
生徒指導部	規範意識・コミュニケーション能力の育成	生徒の実態・課題にあった規範意識育成学習を実施する。	・学校生活アンケート ・アセス	
		学校行事をはじめ教育活動全体を通して生徒の自己有用感や自尊感情を向上させる。		
		授業をはじめとする教育活動全体を通して適切な言葉遣いや挨拶を身に付けさせる。		
	交通事故防止・通学マナーの向上	交通安全教室や条例等の周知を通し交通安全意識の向上を図り交通事故0を目指す。	・校外指導回数	
		通学指導、公共交通機関のマナー指導を学期に1回行う。		
		自転車点検を学期ごとに行い、安全意識の向上を図る。		
	生徒の主体的な活動の推進	生徒会や部活動生徒を中心にリーダー育成を行い学校の活性化に努める。	学校満足度アンケート(生徒・保護者) [学校行事の満足度]	
		学校行事を活性化し、生徒が積極的に運営できるように努める。		
		地域貢献活動や校外行事への参加をとおして、生徒の主体性を育成する。		
	教育相談の充実	毎月の生徒対象アンケートで生徒の実態をつかみ、適切な教育相談を行う。	・いじめアンケート ・学校生活アンケート(生徒・保護者) [教育相談] ・アセス	
SC、SSW、訪問相談員と連携し、個に応じた支援を行う。				
特別支援教育に関する職員研修を年1回実施し、教育相談に生かす。				
学習環境の整備と保健室経営の充実	日常の清掃活動、定期的な校外清掃、美化コンクールを充実する。	・美化コンクール ・保健調査 ・保健室来室者数		
	生徒美化委員会、生徒保健委員会の活動を充実する。			
	「保健室利用カード」を活用し、適切な保健室利用を促す。			

様式3

進路指導部	第1希望進路の実現	進路指導部と学年が協力して進路実現100%を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率及び進学決定率 ・学校満足度アンケート(保護者)[進路先] ・基礎力診断テスト分析 	
		進路HRを利用し、面接や志望理由書作成等の指導を行い、第一希望進路実現を目指す。		
		基礎力診断テストの全体分析により、生徒の学力概況を把握し進路実現に繋げる。		
	組織的・系統的なキャリア教育の推進	SEL-8Careerを系統的かつ効果的に組み込んだ進路HR計画を立案・実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校満足度アンケート(生徒・保護者)[進路指導] ・進路ガイダンス終了時のアンケート 	
		進路学習で「キャリア・パスポート」を有効活用し、学期に1回振り返りを行う。		
		進路ガイダンス、上級学校見学やインターンシップ等を計画・実施し、進路意識の向上を図る。		
差別やいじめを許さない人権意識の涵養	差別やいじめについての知的理解の深化を図り、多様な人権を尊重する雰囲気醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識アンケート 		
	3年生に対して、人権・同和教育授業等で公正な採用選考等について周知する。			
	年間3回以上教職員研修を実施し、教職員の人権意識を高め、その成果を生徒に還元する。			
第1学年	基本的生活習慣の定着	自己管理の重要性を理解させ、出席率の向上を図り、1年間の出席皆勤率を50%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・学校満足度アンケート ・美化コンクール 	
		嘉穂総合生としての帰属意識を高める。挨拶や身だしなみを整える。		
		毎日の清掃活動に取り組み、社会の役立つ奉仕の精神を養う。		
	学習意欲の向上と学習活動に向かう態度の育成	普段の授業を重視させ、生徒が主体的に授業に参加する態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート ・基礎力診断テスト ・美化コンクール 	
		教科担当者との連絡を密に行い、生徒の学習状況の把握に努め、学力向上を目指す。		
		机上の整理を心掛けさせ、学習に取り組む態度を向上し、基礎学力の定着を図る。		
キャリア教育を通じた将来に向けた規範意識の高揚	進路ガイダンス等の体験を通して「自ら調べ、自ら考える」精神を養い、進路実現に向け深く考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス事前、事後アンケート ・各行事後のアンケート ・いじめアンケート 		
	リーダーを中心に各行事の運営、進行などを積極的に行わせ、思考力・判断力・表現力の育成に努める。			
	講演会、学校行事を通して人権意識の高揚を図る。個人面談や学校生活アンケートによりいじめ見逃しゼロを目指す。			
第2学年	社会で「生き抜く力」の育成	基本的生活習慣の定着を図り、出席率平均98%以上、1年間の出席皆勤率50%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・基礎力診断テスト結果 	
		基礎力診断テストにおいて正答率60%以上の生徒の割合を全体の1/2まで引き上げる。		
		服装の整備、机上の整頓、鞆を机の右に掛けるという「3つの徹底」を徹底し、授業に主体的に取り組む生徒を育成する。		
	中核学年としての自覚を持ち、自ら考え結果を出せる生徒の育成	リーダーを中心に各行事の運営や進行などを積極的に行わせ、創立20周年を迎える本校の中核へと育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・パスポート ・いじめアンケート ・朝の取組に関する生徒アンケート 	
		講演会・学校行事を通して人権意識の高揚を図り、いじめゼロを目指す。		
		朝の時間の有効活用により朝読書や基礎学力定着の取組を行い、インプット及びアウトプットの機会を通して主体的に生きる力を身につけさせる。		
キャリア教育を通じた将来に向けた規範意識の高揚	専門性の向上を図るため検定試験、資格試験の受験率60%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験・資格試験の受験者数 ・インターンシップ後の生徒アンケート 		
	インターンシップの事前計画・フィードバックの意識を大切に、3学期には第1希望進路が明確になっている状態を目指す。			
	インターンシップを行うことで、地域との連携強化にもつなげ、地域に貢献できる生徒を育成する。			
第3学年	希望進路の実現	進学・就職率100%を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・進学率、就職率 ・保護者アンケート ・応募前職場見学、進路ガイダンス、オープンキャンパスへの参加数 	
		希望進路の実現のため、保護者との連携をはかる。		
		応募前職場見学や進学ガイダンス・オープンキャンパスへの参加者80名以上を目指す。		
	各科における専門性の向上	専門性向上を図るため、検定・資格試験の受験を促進する。(合格率85%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験、資格試験の実績 ・学校満足度アンケート 	
		学科の特性に応じた教材やICTを生かし、さらなる専門的知識・技能の向上を目指す。		
	何事にも主体性・協調性を持って取り組み、地域に貢献できる人材の育成	学校行事等で生徒が活躍できる環境を整備し、創立20周年の最高学年としてリーダーシップを発揮できる人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・学校満足度アンケート(生徒・保護者)[学校生活全般] 	
社会人としての規範意識向上のため、校則の順守と出席率90%以上を目指す。				
生徒間の対人関係を構築し、社会の構成員として地域に貢献できる資質を育てる。				

様式3

普通科 総合コース	地域社会と連携し、貢献できる力の育成	地域における学習成果発表会を行い、取組の成果を発信する。	・体験入学アンケート ・体験学習アンケート ・学科の特性を生かした校内外の事業の回数	
		他学科と連携して「ふるさと納税返礼品事業」を行う。		
		地域住民参加型の体験学習を行う。		
	ライフデザイン系における教育活動の充実	被服製作、食物調理技術検定の合格者7割以上を目指す。	・学校満足度アンケート(生徒・保護者) [専門科目の授業][資格取得] ・検定試験結果	
		ICTを活用することで、情報分析力を身につけさせる。		
		実習を通して協力や思いやりの姿勢を育てるとともに、技術の習得に努める。		
ビジネス系における教育活動の充実	ビジネス実務計算3級、ビジネス文書検定3級の合格者8割を目指す。	・学校満足度アンケート(生徒・保護者) [専門科目の授業][資格取得] ・検定試験結果		
	電卓や、パソコン等を使用し、ビジネスに関する計算能力を高める。			
	レポートの書き方やプレゼンテーションの技法を身につける。			
農業食品科	地域に必要とされる学科づくり	農産物販売会や食品加工講習会の実施等、積極的に地域貢献活動に取り組む。	・学科の特性を生かした校内外の事業の回数 ・学校満足度アンケート	
		小中学校や保育園等、異校種との交流授業により、生徒に社会への適応力、実践力を育成する。		
	教育内容の充実	各種資格取得試験等の情報提供と資格取得の支援を行う。	・学校満足度アンケート(生徒・保護者) [専門科目の授業][資格取得] ・資格取得状況	
		効果的にICTを活用し、生徒一人一人の学びを深める。		
		農業セミナー等、地域と連携した研修や実習を行い、農業に関する幅広い知識・技能の習得させる。		
	教育環境の整備と安全教育的充実	実験実習室、圃場等の環境を整備し、安全に実習を行うことができるようにする。	・破損記録表による管理	
GAPやHACCPの視点に基づき、安全面や衛生面の徹底を図る。				
実習設備、道具の管理を徹底し、安全教育を行う。				
工業科	学科の特性を活かしたカリキュラムによる資格・検定の実績向上	効果的に学習に取り組める環境を整え、生徒の資格取得意識の定着を図る。	・学校満足度アンケート(生徒・保護者) [専門科目の授業][資格取得] ・資格取得状況	
		社会の変化に対しても柔軟な適応ができるように、資格取得意識向上を目指す。		
		必要に応じてICTを活用し、生徒のICTリテラシーを高める。		
	実習環境の整備と安全教育的充実	実習環境を整備し、系統的かつ効率的な実習指導体制を確立する。	・安全教育実施回数	
		安全教育・危険防止教育の徹底を図り、安全意識を向上させる。		
		環境保全意識と自然保護意識を持つ人材育成を目指す。		
教育活動における質の向上 とものづくり意識の向上	学科内・学科間で情報を共有することで、生徒に合った指導を行う。	・学科の特性を生かした校内外の事業の回数 ・研修会実施回数		
	職員の技能向上研修を実施することにより、指導力を高める。			
	カウンタダウンボードやゴミステーションなど、社会貢献への意識を高められるように指導を行う。			
情報科	情報エンジニア・クリエイター人材の育成	産業現場や上級学校での学習を意識した教科指導を行う。	・授業アンケート ・学習に関するアンケート	
		教科内での連携を強化し、実習内容や教材の充実を図る。		
		課題研究において、最新技術を用いるなど応用的で近未来を感じるようなテーマを設定する。		
	新教育課程への対応と専門性を向上させる指導改善	新科目を含めた各科目の目標を見直し、科目間の連携の効率化を図る。	・学校満足度アンケート(生徒・保護者) [専門科目の授業] ・授業アンケート ・実習に関するアンケート	
		情報実習の弾力的な運用を通して、専門性の向上と特色化を図る。		
		設備や利用可能なソフトウェアを見直し学習環境を整備する。		
進路を見据えた教育活動の充実	科目の内容や進路に合った資格を精査し、資格取得者の増加を目指す。	・学校満足度アンケート(保護者)[資格取得] ・資格取得状況 ・学科の特性を生かした校内外の事業の回数		
	学科内で細かく情報を共有し、生徒の状況や指導内容の共通理解を図る。			
	外部機関との交流や連携事業を充実させ、進路実現に繋げる。			